

# 日本共産党 大津市会議 員団ニュース

No.195

2018年8・9月号

大津市御陵町3-1(市役所内)  
TEL 528-2842 FAX 524-5613

ご意見・ご要望を  
お寄せください。  
info@otsu-jcp.net



世界は軍事から対話へ

## いまこそ憲法の9条

安倍改憲  
STOP!



終戦記念日に訴える穀田衆議院議員、佐藤参議院予定候補ら(杉浦市議が司会)

へ歩を進め、この秋の臨時国会に憲法改定案を發議すると公言しています。世界では平和へのプロセスが着実に進み始めています。軍拡か平和外交か、日本がどの道を選択するかが大きく問われています。日本共産

ブロック塀、危険箇所は？  
災害に強いまちへ 撤去補助を

大阪北部地震を受けて、大津市は公共施設360か所のブロック塀等の点検を行いました。43か所で安全性が確認できず撤去する方針で、この9月議会に補正予算が組まれる予定です。小・中学校(3校)のブロック塀については夏休み中に撤去を予定しています。

一般住宅など民間のブロック塀の改修・撤去を補助する制度を設けている自治体もありますが、大津市にはありません。党市議団は、安全なまちづくりのために補助制度の創設を求めています。



終戦から73年、今年も8月15日に平和宣伝を行いました。政治の最大の責任は戦争をさせないことですが、安倍首相は、広島・長崎の両市長の訴えにも被爆者の声にも応えず、戦争する国づくり

党は反戦平和をつらぬき、今年で96周年。安倍政権の退陣へ、さらに野党共闘を強め、市民のみなさんと力を合わせていきます。

### 公共施設のあり方は市民が主役で

#### “時間がかかるのは当たり前”

7月・8月に、大津市は「市民センター機能のあり方説明会」を開きました。会場は3か所のみで、しかも市長からの説明は、あたかも市が過剰なサービスを提供しているかのようないきなり誘導的なのでした。

や人口規模で一律に削減目標を設定せず、市民生活に寄り添い意見を聞きながら、時間がかかるのは当然という姿勢で取り組まれています。市民おきざりで進める大津市とは決定的に違います。

参加した市民からは、災害対応やまちづくりなど様々な意見が出され、各学区での説明会の開催や、説明会で出された意見を議事録として市民に報告することなども提案されました。

公共施設は市民の財産で、そのあり方はまちづくりにも大きく関わります。日本共産党は引き続き、どこに住んでも安心の大津市へ、市民のみならず、と力を合わせたいきます。

今夏は、気象庁も「災害」と言うほどの記録的な猛暑が続き、熱中症とみられる症状での救急搬送は昨年の3倍以上となつています。市民からも「扇風機では温度が下がらず、食欲が落ちて疲れがとれない」などの声が寄せられ、党市議団は、7月31日、命に関わる危険な暑さから市民や子どもたちを守るよう、市に対し緊急要望を行いました。

### 猛暑から市民・子どもを守れ

日本共産党市議団が緊急要望

特に国が、エアコンは最低生活維持のために必要と示したことから、高齢者や生活困窮世帯などの現状把握と設置支援を早急に行うことを要望。また幼稚園、保育園、学校、児童クラブの暑さ対策とそのための人員、経費の確保を求めました。

国や県に対して、支援対象の拡大や財源の確保など、市民の命を守る仕組みづくりを求めています。

### 支所機能の再編

この夏、党市議団は三重県津市と長野県飯田市で、公共施設の適正化に対する考え方や計画などを調査・研究してきました。両市とも利用率



“市が一方的に進めるのは市民への裏切り行為”と明言する飯田市